



本格シーズン到来!!

流行性おう吐下痢症 (ウイルス性胃腸炎の場合)

ロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルス

潜伏期間=1~3日

汚染された食品や飲料水からの経口感染、感染者のおう吐物や糞便で汚染されたものからも糞口感染する。症状がなくなっても、ウイルスは10日間くらい排出されている。

※できるだけ早く医師の診断を受けましょう。

突然のおう吐から始まり、同時かやや遅れて下痢になる。発熱・腹痛もある。

3日以内に回復に向かう。



ロタウイルスに感染したときは、下痢便が白くなることもある。



おうちでケア

- *おう吐が落ち着いたら、水分補給をしましょう。
- *便のようすを見ながら、消化のよい食べ物を少しずつ与えましょう。
- *症状がひどいときは、入浴を控えましょう。
- *便やおう吐物は、マスクや手袋を着け、適切に処理しましょう。

出席停止期間

おう吐や下痢の症状が治まり、普通に食事ができること。

予防チェックリスト

- ていねいに手洗いをする。
- 二枚貝を料理するときは、しっかり加熱する。

下痢をしたときは

- ① 便の状態を観察する
- ② お尻を洗って清潔にする
- ③ オムツやお尻拭きは二重のビニール袋に密閉する。
(二次感染を防ぐため)

便の写真を撮ったり、ビニール袋に入れて受診時に持参し、医師に診てもらうのもよいでしょう!

ウイルス性胃腸炎には抗ウイルス薬はなく、善玉菌を増加させる整腸剤が処方されることがあります。(下痢止めは回復を遅らせる場合があるため、積極的に使用しない)

乳幼児の嘔吐・下痢で最も重要なことは、脱水を予防することです。経口補水液で、塩分もしっかり摂りましょう! ただし、嘔吐後はすぐには飲ませず、最低でも30分は落ち着かせてから一口ずつ飲ませましょう!

年末年始の急病に備えて・・・

年末年始はほとんどの病院が休診になります。お子様の急な発熱やけがに備えて、事前にかかりつけの病院のほか、近くの救急病院の診療時間を確認しておきましょう。【世田谷区医師会】のホームページに、年末年始でも診療可能な病院一覧が載っています。

吐いたときは

子どもはちょっとした刺激で吐くことがあります。経過に注意し、感染症などの病気が疑われるとき、心配な様子があるときは、すぐ対処しましょう

①口をすすぐ

うがいができる子は、口をすすいでさっぱりさせます。ちいさな子は、コップで水を口に注ぎ、吐き出させます。

②着替えをする

においが残っていると吐き気を誘ってしまうので、服が汚れていたら着替えをします。



③横になって安静にする

吐いたものが気管につまらないように横向きに寝かせます。うつぶせにならないよう注意



④水分を補給する

吐き気が治ったら、少しずつこまめに水分をとらせませす。一度に飲むと胃を刺激して吐いてしまうので、少量ずつ飲ませましょう。



元気が一番

昭和ナースリー11月の感染症報告

- 溶連菌感染症 2名(うさぎ・くま組)